Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX AW100

クールピクス AW100

使用説明書

Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX AW100をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いになる前に、「**安全上のご注意**」（🕮vi）や「＜重要＞ 耐衝撃性能、防水/防じん、結露、GPS/電子コンパスについて」（🕮xi）、本製品の使用方法をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX AW100 **カメラ本体**

陸上専用ストラップ

Li-ion **リチャージャブルバッテリー** EN-EL12 **（端子カバー付き）**

バッテリーチャージャー MH-65P

フィルターアダプター UR-E23 **（フィルターアダプター用ひも付き）**

USB **ケーブル** UC-E6

オーディオビデオケーブル EG-CP16

ViewNX 2 Installer CD （ViewNX 2 **インストーラー** CD）

活用ガイド CD

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※付属品は、防水仕様ではありません。
※メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□15）をご覧ください。
また、カメラ各部の主な役割や基本的な操作方法は、「各部の名称と基本操作」（□1）をご覧ください。

●付属の「活用ガイド CD」について

「活用ガイド」をPDFファイルで収録しています。さらに詳しい説明を知りたいときにご覧ください。
Adobe Reader で閲覧できます。Adobe Readerは、Adobeのホームページからダウンロードできます。

「活用ガイド CD」の内容を見るには

1 パソコンを起動し、「活用ガイド CD」をCD-ROMドライブに入れる。
2 コンピューター（Windows 7 / Windows Vista）、マイコンピュータ（Windows XP）または、デスクトップ（Mac OS X）にある［**COOLPIX AW100**］CDアイコンをダブルクリックする。
3 INDEX.pdfアイコンをダブルクリックし、［**活用ガイド**］をクリックする。

● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/☼	関連情報が記載されているページです。☼は「付録、索引」のページです。

- 操作手順を → で表すことがあります。
- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、［ ］で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

ホログラムシール

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］（📖94）の［**撮影した画像**］も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

SDカードに保存したログデータの扱いは、SDカード内の他のデータと同じです。SDカードに未保存の取得済みデータは、［**ログ取得**］→［**ログ取得終了**］→［**ログ消去**］で消去できます。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠危険	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュや動画照明を発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュや動画照明を人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
使用注意	**水中で使うときはストラップを取り外す** 首に巻き付くと窒息の原因になります。
警告	**ストラップが首に巻きつかないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電源(電池またはACアダプター)を使うこと** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
禁止	**通電中のACアダプターに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
禁止	**0℃以下の低温下でカメラに長時間直接触れない** 金属部分などに触れていると、皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。 手袋などを着用ください。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする** **また、搭乗前にGPSの位置情報記録機能もOFFにする** **病院では、病院の指示に従う** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
禁止	**運転者は走行中に操作をしない** 交通事故の原因になることがあります。

電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源(電池またはACアダプター)を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。 ACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
直視しない	**動画照明を直接見ない** 視覚に悪影響を及ぼすことがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12 は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で COOLPIX AW100 に対応しています。EN-EL12 に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

使用禁止

充電には専用の充電器を使う
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは、端子カバーをつけてください。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

充電の際に、所定時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（バッテリーチャージャーについて）

分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
プラグを抜く すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
禁止	**通電中のバッテリーチャージャーに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（バッテリーチャージャーについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
放置禁止	**製品は、幼児の手の届くところに置かない** ケガの原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

＜重要＞ 耐衝撃性能、防水/防じん、結露、GPS/電子コンパスについて

・「取り扱い上のご注意」（2）も、必ずお読みください。

耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock※に準拠した当社試験（高さ 152 cmから厚さ 5 cmの合板上へ落下）をパスしています。
すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。

※ 米国国防総省の試験方法の規格です。
高さ 122 cmから26方向（8角、12稜、6面）の落下試験を、5台のセットを使って、合計5台以内でパスする試験です（試験中に不具合が生じたときは、新たな5台のセットを使って、合計5台以内で試験します）。

●本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動や圧力を与えないでください。

浸水や故障の原因になります。

- 本製品を水深 10 m より深いところに入れないでください。
- 本製品に流水などで強い水圧をかけないでください
- 本製品をスラックスなどのポケットに入れたまま座らないでください。バッグなどに無理に詰め込まないでください。

防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 10 m で 60分まで撮影できます。※
すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
※ 当社の定める使用方法で、指定圧力の水中で指定時間使用できるという意味です。

●本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動、圧力を与えた場合、防水性能を保証するものではありません。

- 本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、防水性能の点検（有料）をおすすめします。
  - 本製品を水深 10 m より深いところに入れないでください。
  - 本製品に流水などで強い水圧をかけないでください。
  - お客さまの誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。
- 本製品の防水性能は、真水と海水のみを対象としています。
- 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると故障します。

- 付属品は防水仕様ではありません。
- 本製品をぬれた手で取り扱わないでください。また、ぬれたメモリーカード、バッテリーをカメラに入れないでください。
- カメラの外側やバッテリー/SDカードカバーの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。
  水辺や水中で、ぬれた状態でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になります。
  ぬれた手でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。
- カメラの外側やバッテリー/SDカードカバーの内側（黄色の防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に異物が付着したら、すぐにブロアーやブラシなどで取り除いてください。
- 本製品に日焼けオイル、日焼け止め、温泉、入浴剤、洗剤、石けん、有機溶剤、油脂、アルコール類などが付着したら、ただちにふき取ってください。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、40℃以上の高温下（特に、直射日光の当たる場所、車内、船上、砂浜、そして暖房装置の近くなど）に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。

水中で使用する前のご注意

陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。

1. バッテリー/SDカードカバーの内側に異物が付着していないか確かめる

- 砂、ほこり、毛髪などの異物の付着は、ブロワーかブラシで取り除いてください。
- 水滴など液体の付着は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

2. バッテリー/SDカードカバーの防水パッキンにひび割れや変形がないか確かめる

- 防水パッキンの防水性能は、1年以上経過すると劣化します。
  1年に1回は、ご購入店かニコンサービス機関にご相談いただき、防水パッキンの交換（有料）をおすすめします。

3. バッテリー/SDカードカバーを確実に閉じたか確かめる

- 「カチッ」とロックがかかるまで、バッテリー/SDカードカバー開閉ダイヤルを回してください。ストラップの細いひもを挟み込まないようご注意ください。
- ダイヤルの指標が、「閉じる」状態になっていることも確かめてください。

水中での使用について

浸水を防ぐために、以下にお気をつけください。

- 本製品を持って水深 10 m よりも深く潜らないでください。
- 水中で60分以上連続して使わないでください。
- 水温 0℃から40℃の範囲内でお使いください。
  40℃よりも熱いお湯（お風呂や温泉など）の中に入れないでください。
- 水中でバッテリー /SDカードカバーを開閉しないでください。
- 水中で本製品に衝撃を与えないでください。
  本製品を持って水中に飛び込んだり、急流や滝などの激しい水圧をかけたりしないでください。
- 本製品は水に浮きません。水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。

水中で使用後のクリーニング

- 水中で使った後は、60分以上放置せずに、必ずお手入れをしてください。
  異物や塩分、温泉成分などを付着したまま放置すると、破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。
- お手入れの前に、手、身体や毛髪などに付着した水滴、砂、塩分、温泉成分などをよく取り除いてください。
- お手入れは、水しぶきや砂がかかるおそれのある場所を避け、室内をおすすめします。
- 水洗いで異物を取り除き、水分をふき取るまでは、バッテリー /SDカードカバーを開けないでください。

1. バッテリー /SDカードカバーを閉じたまま、真水で洗う

浅い容器に溜めた真水の中に、約10分間浸け置きしてください。

- ボタンやスイッチ類が正常に動かないときは、異物付着の可能性があります。
  故障の原因になりますので、真水に浸けて軽く揺すり、異物を洗い流してください。
- 水に浸けると、マイクやスピーカーなどの水抜き孔からわずかに気泡が出ることがありますが、故障ではありません。

2. 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす

- 乾いた布などの上に立てて置いて、乾かしてください。
  マイクやスピーカーなどの隙間に入っていた水が流れ出てきます。
- ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。
  防水パッキンやボディーが変形すると、防水性能を失います。

3. 水滴などの付着がないことを確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る

- 十分に乾燥させないうちに、カバーを開けると、水滴がメモリーカードやバッテリーに付着することがあります。また、水滴がカバーの内側（防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に付着することがあります。
  柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。
- カバーを内側がぬれたままで閉じると、結露や故障の原因になります。
- マイクやスピーカーなどの孔を水滴がふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。
  - 柔らかい乾いた布でふき取ってください。
  - マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。

使用温度と湿度、結露について

このカメラは、－10℃～+40℃での動作確認をしています。
寒冷地では、以下にご注意ください。

- バッテリーの性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が一時的に低下します。カメラや予備バッテリーは、保温しながらお使いください。
- カメラが冷え切っていると、液晶モニターが電源をONにした直後は通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、性能が一時的に低下することがあります。
- カメラの外側に雪や水滴などが付着したら、すぐに取り除いてください。
  - ボタンやスイッチ類などが凍結すると、動きにくくなることがあります。
  - マイクやスピーカーなどの孔を水滴などがふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。

●レンズや液晶モニターの内側が、温度や湿度などの使用環境によってくもる（結露する）ことがあります。本機の故障や不具合ではありません。

●カメラの内側が結露しやすい環境について

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズや液晶モニターの内側がくもる（結露する）場合があります。

- 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
- 寒冷地から屋内などの温かい場所に持ち込む
- 湿度が高い環境で、バッテリー/SDカードカバーを開閉する

●くもりを取る方法

- 高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源をOFFにしてからバッテリー/SDカードカバーを開ける。
  バッテリーとSDカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、くもりが取れます。
- くもりが取れない場合は、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

GPS/電子コンパスについて

●本製品の地図・地名情報データについて

GPS機能をお使いの前に、「地図・地名情報データ使用許諾契約書」（9）を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地図や地名情報（Point of Interest：POI）は、2010年12月現在のものです。地図や地名情報の更新はいたしません。
- 地形の詳細については、地図の縮尺に従い、省略表示をしています。地図の縮尺、地名情報の粗密は、国や地域で異なります。また、緯度が高くなるに伴い、画面上の縦横の縮尺は異なってくるため、地形の表示も実際と異なります。地図や地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。

●GPSと電子コンパスについて

- 車などを運転しながら、お使いにならないでください。
- 本製品が計測する情報（方位や距離など）は、あくまでも目安です。
  航空機、車、人などの航法用途、および測量用途にお使いになれません。
- 本製品を登山やトレッキング、水中などでお使いの際は、必ず地図や航法機器、計測機器を携帯してください。
- カメラのレンズが上を向いているときは、電子コンパスは表示されません。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、GPSログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。
  「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」（v）も必ずお読みください。

●［GPS設定］で［位置記録機能］を［ON］に設定していると、電源を切っても、GPS機能が働きます

- カメラが出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空機の離着陸時や病院など使用禁止区域では、［**位置記録機能**］を［**OFF**］に設定のうえ、電源をOFFにしてください。
- ［**位置記録機能**］が［**ON**］のときは、電源OFF時でもバッテリーを消耗します。

●海外旅行などでお使いの場合

- GPS機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などでお確かめください。
  たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。
  ［**GPS設定**］の［**位置記録機能**］を［**OFF**］に設定してください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、GPSが正常に機能しない場合があります（2010年12月現在）。

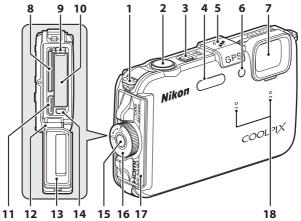
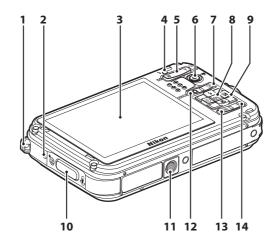
目次

各部の名称と基本操作

この章では、各部の名称のほか、各部の主な役割や基本操作について説明しています。

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（15）をご覧ください。

各部の名称

カメラ本体

1	ストラップ取り付け部 14
2	シャッターボタン .... 4、30
3	電源スイッチ/電源ランプ 23
4	フラッシュ 54
5	GPSアンテナ 86
6	セルフタイマーランプ .... 56 AF補助光 .... 95 動画照明 83
7	レンズ
8	SDカードスロット 20
9	バッテリーロックレバー .... 18、19
10	バッテリー室 18
11	HDMIミニ端子（Type C）........... 73
12	蝶番（ちょうつがい）................. xii
13	防水パッキン xii
14	USB/ オーディオビデオ出力端子 73
15	バッテリー/SDカードカバーロック解除ボタン .... 18、20
16	バッテリー/SDカードカバー開閉ダイヤル .... 18、20
17	バッテリー/SDカードカバー .... 18、20
18	マイク（ステレオ）............ 71、80

1	ストラップ取り付け部 14
2	スピーカー ....71、84、95
3	液晶モニター .... 6、26
4	フラッシュランプ 54
5	ズームボタン .... 29 W：広角ズーム .... 29 T：望遠ズーム .... 29 サムネイル表示 .... 33 拡大 .... 33 ヘルプ 39
6	●（動画撮影）ボタン 80
7	▶（再生）ボタン .... 9、32
8	OK（決定）ボタン 10
9	マルチセレクター 10
10	アクションボタン ：地図表示 .... 13 ：アクション操作 13
11	三脚ネジ穴
12	（撮影モード）ボタン ..... 9、26
13	MENU（メニュー）ボタン .... 11、50、51、83
14	（削除）ボタン .... 34、84

撮影時に使う主な操作部

操作部	名称	主な機能	📖
	（撮影モード）ボタン	撮影モードを切り換える（撮影モードを選ぶ画面を表示）	26
	ズームボタン	**T**（）（望遠）側で被写体を大きく、**W**（）（広角）側で広い範囲を写す	29
	マルチセレクター	→「マルチセレクターを使う」をご覧ください。	10
	MENU（メニュー）ボタン	メニューを表示/終了する	11
	シャッターボタン	半押し：少し抵抗を感じるところまで押し、ピントと露出を固定する 全押し：深く押し込み、シャッターをきる	30
	●（動画撮影）ボタン	動画撮影を開始/終了する	80
	再生ボタン	画像を再生する	9、32
	削除ボタン	最後に保存した画像を1コマ削除する	34
	アクションボタン	• カメラを振って操作する • 現在地を地図に表示する	13 13

再生時に使う主な操作部

操作部	名称	主な機能	📖
	再生ボタン	• 電源 OFF 時に長押しして、再生モードで電源を ON にする • 撮影に戻る	23 9
	ズームボタン	• **T**（🔍）で拡大表示、**W**（▦）でサムネイル / カレンダー表示する • 音声メモ、動画再生の音量を調節する	33 71、84
	マルチセレクター	→「マルチセレクターを使う」をご覧ください。	10
	決定ボタン	• 連写グループの画像を 1 コマずつ表示する • かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する • 動画を再生する • サムネイル表示 / 拡大表示から 1 コマ表示に戻る	10 10 84 10
	MENU（メニュー）ボタン	メニューを表示/終了する	11
	削除ボタン	画像を削除する	34
	📷（撮影モード）ボタン	撮影に戻る	–
	シャッターボタン		
	●（🎥 動画撮影）ボタン		
	アクションボタン	画像の撮影場所を地図に表示する	13

各部の名称と基本操作

液晶モニターの表示内容

- 撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[**モニター設定**]（🕮94）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］時）。

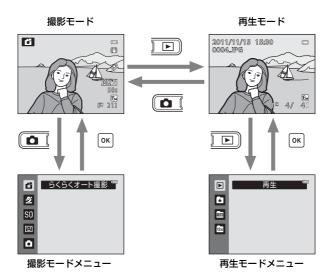
撮影モード

再生モード

1. 撮影日 24
2. 撮影時刻 24
3. 音声メモ表示..............................71
4. お気に入りフォルダー表示 70
   オート分類項目表示 70
   撮影日一覧表示...........................70
5. バッテリー残量表示 22
6. プロテクト表示...........................71
7. GPS受信状態..............................86
8. ログ取得表示..............................91
9. コンパス表示（方位磁石）.........91
10. プリント指定表示.......................71
11. 画像モード 61
12. 動画設定 83
13. かんたんパノラマ表示...............45
14. (a)画像の番号/全画像数 32
    (b)動画の再生時間......................84
15. 内蔵メモリー表示.......................32
16. かんたんパノラマ再生ガイド
    連写グループ再生ガイド
    動画再生ガイド...........................84
17. 撮影日一覧ガイド
18. 音量表示............................. 71、84
19. 地名情報（POI情報）..................91
20. D-ライティング済み表示...........71
21. 簡単レタッチ済み表示 71
22. フィルター効果済み表示............71
23. スモールピクチャー 71
24. メイクアップ効果 71
25. 連写グループ表示.......................72
26. ファイル名

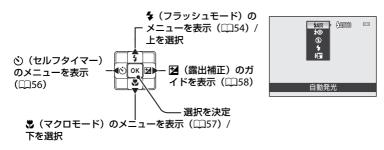
撮影モードと再生モードを切り換える

このカメラには、画像を撮影する「撮影モード」と、撮影した画像を再生する「再生モード」があります。
「再生モード」へ切り換えるには、▶（再生）ボタンを押します。
「撮影モード」へ切り換えるには、◘（撮影モード）ボタンを押します。

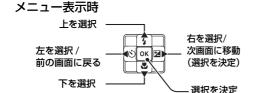
- 再生モードでシャッターボタン、または●（🎥 動画撮影）ボタンを押しても、撮影モードになります。

- 撮影モードで ◘（撮影モード）ボタンを押すと、撮影モードの種類を選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます（📖26、27）。
- 再生モードで▶（再生）ボタンを押すと、再生モードの種類を選ぶ画面（再生モードメニュー）が表示されます（📖70）。
- 撮影モードや再生モードの種類を選ぶには、マルチセレクターを使います（📖10）。

マルチセレクターを使う

上（▲）、下（▼）、左（◀）、右（▶）、または®ボタンを押して操作します。

撮影モード時

再生モード時

※ サムネイル表示/拡大表示時は、1コマ表示に戻ります。

メニュー表示時

メニューを使う（MENUボタン）

撮影、再生時の画面でMENUボタンを押すと、選んでいるモードに応じたメニューが表示されます。メニュー画面では、撮影や再生、カメラに関する各種設定を変更できます。

📷タブ：
使用中の撮影モード（📖27）で使える項目を表示します。タブのアイコンは、撮影モードによって異なります。

🎥タブ：
動画撮影専用の項目を表示します。

🔧タブ：
セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。

▶タブ：
使用中の再生モード（📖70）で使える項目を表示します。タブのアイコンは再生モードによって異なります。

🔧タブ：
セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。

タブが表示されないときは

MENUボタンを押して、画像モードを選ぶ画面になったときは、◀を押すとタブを表示できます。

タブの切り換え方

マルチセレクターの◀を押してタブに移動します。

マルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、Ⓚボタンまたは▶を押します。

選んだタブのメニューが表示されます。

メニュー項目の選び方

マルチセレクターの▲▼で項目を選び、▶またはⓀボタンを押します。

▲▼で項目を選び、Ⓚボタンを押します。

設定が終わったら、MENU（メニュー）ボタンを押してメニューの表示を終了します。

メニュー画面が2ページ以上あるとき

ページの位置を示すバーが表示されます。

アクションボタンを使う

アクションボタンを押すと、セットアップメニュー（□94）の［**アクションボタン設定**］で設定した以下のどちらかの操作ができます。

- 地図を表示する。
- カメラを振って操作する（アクション操作）。

地図表示

撮影時は、現在地を地図上に表示します（地図表示メニュー（□86）［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］時のみ）。
再生時は、画像の撮影場所を地図上に表示します（位置情報が記録された画像のみ）。

アクション操作

図のように手首を使って、カメラを上下方向、または前後方向に一振りして操作します。

アクションメニュー

アクションメニューでは、カメラを上下方向または前後方向に振って、以下の項目を選べます。

- 撮影モード選択：［**らくらくオート撮影**］、［**オート撮影**］、［**ビーチ**］、［**雪**］、［**風景**］、［**水中**］のモードを選べます。
- ［**動画撮影開始**］：アクションボタンを押すと撮影が始まります。もう一度押すと終了します。
- ［**クイック再生**］：画像を1コマ表示します。
- ［**現在地**］：現在地を地図上に表示します（地図表示メニュー（□86）［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］時のみ）。

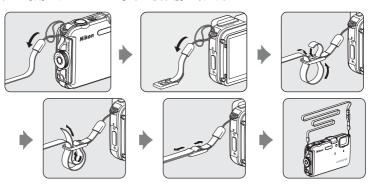
アクションボタンを押すと決定します。

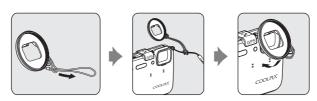
［**クイック再生**］または再生モードの1コマ再生時には、カメラを上下方向に振ると次の画像を、前後方向に振ると前の画像を表示します。

アクション操作についてのご注意

- アクション操作するときは、必ずストラップに手を通して、カメラをしっかりと持ってください。
- アクション操作中は、アクションボタン、シャッターボタンおよび電源ボタンのみ使用できます。
- カメラの振り方によっては、うまく操作できない場合があります。アクション操作の感度を変更してみてください（🕮95）。

陸上専用ストラップの取り付け方

陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。

フィルターアダプターの用途と取り付け方

付属のフィルターアダプターを使うと、市販の φ40.5 mmフィルターを取り付けられます。カラーフィルターや偏光フィルターを使いたいときなどにフィルターアダプターを取り付けます。
フィルターアダプターはストラップにひもで取り付けられます。

フィルターアダプター使用時のご注意

フィルターアダプターを取り付けると、AF補助光/動画照明（🕮2）が遮られます。フィルターアダプターを使うときは、AF補助光（🕮95）および動画照明（🕮83）を［**OFF**］にしてください。

撮影と再生の基本ステップ

準備

撮影

再生

準備1　バッテリーを充電する

1 付属のバッテリーチャージャー MH-65P を用意する

2 付属のバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池）を奥に押し込みながら（①)、バッテリー チャージャーにセットする（②）

3 バッテリーチャージャーをコンセントに差し込む

- CHARGEランプが点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、充電時間は約2時間30分です。
- 充電が完了すると、CHARGEランプが点灯します。
- CHARGEランプについて→🕮17

4 充電が完了したら、バッテリーを取り外し、バッテリーチャージャーをコンセントから抜く

CHARGEランプについて

状態	意味
点滅	充電中です。
点灯	充電が完了しました。
速い点滅	• バッテリーのセットミスです。バッテリーチャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、バッテリーチャージャーに寝かせるようにセットし直してください。 • 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の室内で充電してください。 • バッテリーの異常です。ただちにバッテリーチャージャーをコンセントから抜いて充電を中止してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーは、ご購入店またはニコンサービス機関にお持ちください。

バッテリーチャージャーについてのご注意

- バッテリーチャージャーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（📖x）、「注意」（📖x）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーチャージャーについて」（🔆5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

バッテリーについてのご注意

- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（📖ix）、「警告」（📖ix）、「注意」（📖ix）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意　バッテリーについて」（🔆4）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

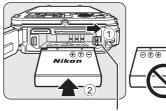
AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62F を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

準備2　バッテリーを入れる

1 バッテリー /SD カードカバーロック解除ボタンを押し込み（①）、バッテリー /SDカードカバー開閉ダイヤルを回して（②）、カバーを開ける（③）

2 バッテリーを入れる

- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら（①）、奥まで差し込みます（②）。
- 奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

バッテリーロックレバー

逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

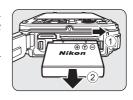
3 バッテリー /SD カードカバーを本体に押しあてながら（①）、バッテリー /SDカードカバー開閉ダイヤルを、ロックがかかるまで回す（②）

- カチッと音がするまで回してください。

ストラップひもの挟み込みに注意

バッテリー/SDカードカバーを閉めるときに、ストラップやフィルターアダプターのひもを挟み込むとバッテリー/SDカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認してからバッテリー /SDカードカバーを閉めてください。

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして（📖23）、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開けます。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押すと（①）、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

✔ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

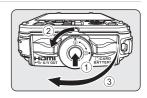
✔ バッテリー /SDカードカバーの開閉に注意

砂、ほこりなどの多い場所や、ぬれた手でバッテリー /SDカードカバーの開閉をしないでください。異物を取り除かずにカバーを閉めると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。

- カバーやカメラの内側に異物が付着したら、すぐにブロアーやブラシなどで取り除いてください。
- カバーやカメラの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。

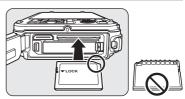
準備3　SDカードを入れる

1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開ける

・カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

・カチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 バッテリー/SDカードカバーを閉じる

ストラップひもの挟み込みに注意

バッテリー/SDカードカバーを閉めるときに、ストラップやフィルターアダプターのひもを挟み込むとバッテリー/SDカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認してからバッテリー/SDカードカバーを閉めてください。

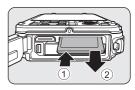
SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、このカメラで初期化してからお使いください。
- **SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー（□94）の［**カードの初期化**］を選びます。

SDカードについてのご注意

SDカードの使用説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（6）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。
SD カードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SD カードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。

高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約83 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SD メモリーカード	SDHC メモリーカード ※2	SDXC メモリーカード ※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB	48 GB、64 GB
Lexar	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	-

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

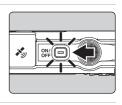
※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記 SD カードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

ステップ1　電源をONにする

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- はじめて電源をONにしたときは →「表示言語と日時を設定する」（□24）
- 液晶モニターが点灯します。

2 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する

バッテリー残量表示

表示	意味
(バッテリーアイコン)	バッテリー残量はあります。
(バッテリーアイコン・残量少)	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
❶ **電池残量がありません**	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

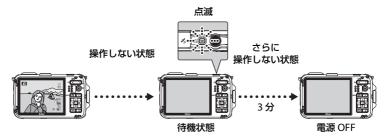
撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SD カードをカメラに入れていないときは、IN が表示され、画像を内蔵メモリー（約83 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画質/画像サイズ（画像モード）によって異なります（□61）。
- イラスト上の記録可能コマ数の数値は、実際とは異なります。

電源のON/OFFについて

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。液晶モニターも、電源ランプも消灯します。
- 再生モードで電源を ON にするには、▶（再生）ボタンを長押しします。

節電機能について（オートパワーオフ）

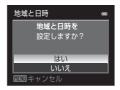
カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
→ 電源スイッチ、シャッターボタン、📷（撮影モード）ボタン、▶（再生）ボタン、または●（🎥 動画撮影）ボタン

- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（📖94）の［**オートパワーオフ**］で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約5分で待機状態になります。
- ACアダプター EH-62F（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 マルチセレクターの▲または▼で表示言語を選び、Ⓚ ボタンを押す

2 ▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

- 設定を中止するときは、［**いいえ**］を選びます。

3 ◀または▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 夏時間を設定するには→□25

4 ▲または▼で日付の表示順を選び、Ⓚボタンまたは▶を押す

撮影と再生の基本ステップ

5 ▲、▼、◀または▶で日時を合わせ、Ⓞボタンを押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**]、に切り換わります）。
- 項目の内容を合わせる：▲または▼を押します。
- 設定を完了する：[**分**] を選び、Ⓞ ボタンまたは▶を押します。
- 設定が完了すると、撮影画面になります。

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）制のある地域で、その期間中に日時を設定するときは、手順3の地域設定画面でマルチセレクターの▲を押して夏時間の設定をオンにします。

設定をオンにすると、画面上部にマークが表示されます。

オフにするには、▼を押します。

言語や日時の設定をやり直すときは

- セットアップメニュー（94）で［**言語/Language**］または［**地域と日時**］を設定します。
- セットアップメニュー→［**地域と日時**］→［**タイムゾーン**］で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面でが点滅します。セットアップメニュー（94）の［**地域と日時**］で日時を設定してください。

時計用電池について

- カメラの時計は、カメラに入れるバッテリーとは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、設定した日時を数日間、記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「表示言語と日時を設定する」手順2（24）

撮影日入りの画像をプリントするときは

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（94）で［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を入れられます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（74）を使うと、日付を入れてプリントできます。

撮影と再生の基本ステップ

ステップ2　撮影モードを選ぶ

1 ◘ボタンを押す

- 撮影モードを選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼で撮影モードを選ぶ

- ここでは、◘ らくらくオート撮影モードを例に説明します。◘［**らくらくオート撮影**］を選んでください。

3 ⓚボタンを押す

- ◘（らくらくオート撮影）モードの撮影画面になります。撮影モードアイコンは、被写体や構図に合わせて◘、◘、◘、◘、◘、◘、または◘に変わります。

- 液晶モニターの表示内容について → □6
- 選んだ撮影モードは電源をOFFにしても記憶されます。

撮影と再生の基本ステップ

撮影モードの種類

らくらくオート撮影 38

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

シーン 39

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。

- シーンを選ぶには、撮影モードメニューで、マルチセレクターの▶を押し、▲▼◀▶でシーンを選んで OK ボタンを押します。

SO スペシャルエフェクト 47

画像に効果を付けて撮影できます。6種類の撮影効果から選べます。

- 効果を選ぶには、撮影モードメニューで、マルチセレクターの▶を押し、▲▼◀▶で効果を選んで OK ボタンを押します。

ベストフェイス 49

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

オート撮影 51

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー（51）の項目を設定できます。

撮影モードで使える機能について

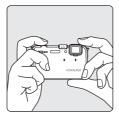
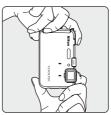
- マルチセレクターの▲（⚡）、▼（🌷）、◀（⏱）または▶（☒）の機能を設定できます。→「マルチセレクターで設定できる機能」（53）
- MENU ボタンを押すと、選んだ撮影モードに応じたメニュー項目が表示されます。
  撮影モードに応じたメニュー項目は、「いろいろな撮影」（38）をご覧ください。

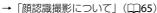
アクション操作について

セットアップメニュー（94）の［**アクションボタン設定**］を［**アクション操作**］にすると、アクション操作（13）で、撮影モードの切り換えができます。

ステップ3　カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。

2 構図を決める

- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り替わります（□26）。
- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。

  →「顔認識撮影について」（□65）
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AF エリアは表示されません。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

（らくらくオート撮影）モードのご注意

- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はになります。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。

ISO感度表示について

撮影画面にISO（ISO感度表示、□7）が表示されることがあります。ISOが表示されたときは、ISO感度が自動的に上がっています。

三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所で撮影するとき、フラッシュモード（□54）を（発光禁止）にして撮影するとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□94）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ズームを使う

ズームボタンを押すと、光学ズームが作動します。
- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）を押す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）を押す。
- 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- ズームボタンを押すと液晶モニターの画面上部にズームの位置が表示されます。

電子ズームについて

光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームボタンの**T**を押し続けると、電子ズームが作動します。
電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（61）や電子ズームの倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示のマークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。
マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

- セットアップメニュー（94）の［**電子ズーム**］で、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ4　ピントを合わせ、シャッターをきる

1 シャッターボタンを指先に少し抵抗を感じるところまで押し、そのまま止める（これを「半押し」といいます）

- 半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。ピントと露出は、半押しを続けている間、固定されます。
- 顔認識した場合：
  二重枠のAF エリアで囲まれた顔にピントが合います（顔認識撮影について→□65）。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

- 顔認識していない場合：
  撮影シーンに応じてカメラが選んだAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します（最大9カ所）。

- 電子ズーム使用時は、AF　エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AF エリアまたは AF 表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（これを「全押し」といいます）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあります。ゆっくりと押し込んでください。

画像の記録についてのご注意

- 液晶モニターの「記録可能コマ数」が点滅しているときは、画像の記録中です。**バッテリー /SDカードカバーを開けないでください。** 画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。
- 設定や撮影状況によっては、記録の終了までに時間がかかることがあります（16）。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアが緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、オート撮影モードなどで、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（67）をお試しください。

AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（95）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（54）が発光することがあります。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

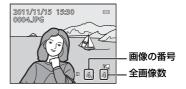
ステップ5　画像を再生する

1　▶（再生）ボタンを押す

- 撮影モードから再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

2　マルチセレクターで前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：▲または◀
- 次の画像を表示する：▼または▶
- アクション操作（□13）で、カメラを振っても画像を選べます。
- 撮影に戻るには、◘ ボタン、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタンを押します。

- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」にINが表示されます。

画像の再生について

- 顔認識（□65）またはペット検出（□46）して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（撮影メニュー（□51）の［**連写**］で撮影した画像を除く）。
- 連写した画像の場合、一度の連写で撮影した複数の画像が1つのグループとなり、代表画像1コマのみを表示します（連写グループ表示→□72）。
- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。

関連ページ

- 「再生モードで使える機能（再生メニュー）」→□71
- 「再生する画像を絞り込む」→□70

画像の表示方法を変える

再生モードでズームボタン（**W**（⊞）/ **T**（Q））を操作すると、画像の表示方法を変更できます。

拡大表示

表示位置ガイド

1 コマ表示　　拡大表示

- 拡大率を調節するには、ズームボタン（**W**（⊞）/ **T**（Q））を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識（□65）またはペット検出（□46）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（撮影メニュー（□51）の［**連写**］で撮影した画像を除く）。複数の顔を認識したときは、▲▼◀▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- MENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます。
- ⓀボタンOKボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示/カレンダー表示

1 コマ表示　　サムネイル表示（4 コマ /9 コマ /16 コマ）　　カレンダー表示

- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。
- 表示コマ数は、ズームボタン（**W**（⊞）/**T**（Q））で変更できます。
- マルチセレクターの▲▼◀ ▶で画像を選びOKボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- サムネイル表示を16コマにした後、ズームボタンの**W**（⊞）を押すと、「カレンダー表示」になります。
- カレンダー表示でマルチセレクターの▲▼◀ ▶で日付を選んでOKボタンを押すと、その日に撮影した最初の画像に移動して表示します。

ステップ6　不要な画像を削除する

1 削除したい画像を表示し、🗑ボタンを押す

2 マルチセレクターの▲または▼で削除方法を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**表示画像**］：表示している1コマを削除します。
- ［**削除画像選択**］：複数の画像を選んで削除します。→「削除画像選択画面の操作方法」（📖35）
- ［**全画像**］：すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、MENUボタンを押します。

3 ▲または▼で［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。
- 削除をやめるときは、▲または▼で［**いいえ**］を選び、Ⓚボタンを押します。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像は元に戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- プロテクト設定（📖71）した画像は、削除されません。

連写した画像の削除について

- 連写した画像は、撮影した一連の画像が1つのグループ（連写グループ）となり、初期設定ではグループ内の1コマ目の画像（代表画像）のみを表示します。
- 代表画像のみで表示中に🗑ボタンを押すと、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除されます。
- 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、🗑ボタンを押す前にⓀボタンを押して、1コマずつに展開表示してください。

撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

削除画像選択画面の操作方法

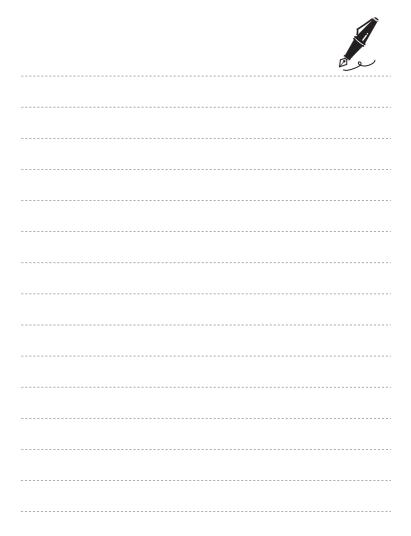
1 マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で✓を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して✓を非表示にします。
- ズームボタン（📖29）の**T**（Q）を押すと1コマ表示に、**W**（▦）を押すと一覧表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✓を表示し、®ボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

削除する画像を絞り込むには

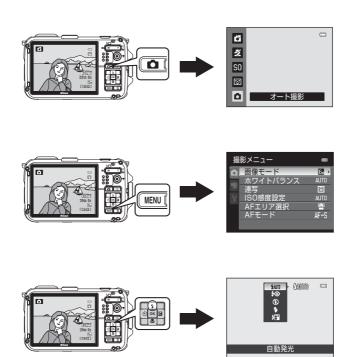
お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードに切り換える（📖70）と、お気に入りフォルダーや分類、撮影日ごとに画像を絞り込んで削除できます。

いろいろな撮影

この章では、各撮影モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。

撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

オート撮影

撮影メニュー
画像モード
ホワイトバランス AUTO
連写
ISO感度設定 AUTO
AFエリア選択
AFモード AF-S

AUTO
自動発光

（らくらくオート撮影）モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする ➔ （撮影モード）ボタン ➔ （らくらくオート撮影）（26、27）

カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- ：ポートレート
- ：風景
- ：夜景ポートレート
- ：夜景
- ：クローズアップ
- ：逆光
- ：水中※
- ：その他の撮影シーン

※カメラを水の中に入れると、水中モードに切り換わります。

- ピント合わせをするエリア（AF エリア）は、構図によってカメラが選びます。カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→65）。

らくらくオート撮影モードのご注意

- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はになります。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。

水の中から出した後のご注意

カメラを水の中から出した後、まれに、水中モードから他のシーンに自動で切り換わらないことがあります。
カメラに付着した水滴などを、手で軽く払うか、柔らかい乾いた布でふき取ってください。お手入れの仕方は、「水中で使用後のクリーニング」（xiii）をご覧ください。

（らくらくオート撮影）モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（53）→ フラッシュモード（54）、セルフタイマー（56）、露出補正（58）
- MENU ボタンで設定できる機能 → 画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（61）。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（63）。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。

撮影画面にする ➔ （撮影モード）ボタン ➔ （上から2番目のアイコン※）➔ ▶ ➔シーンの選択（26、27）

※前回設定したアイコンが表示されます。初期設定は（ポートレート）です。

ポートレート（40）	クローズアップ（42）
風景（40）	料理（43）
スポーツ（40）	ミュージアム（43）
夜景ポートレート（41）	打ち上げ花火（43）
パーティー（41）	モノクロコピー（43）
ビーチ（41）	逆光（44）
雪（41）	パノラマ（45）
夕焼け（41）	ペット（46）
トワイライト（42）	水中（46）
夜景（42）	

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面でシーンの種類を選び、ズームボタン（29）の**T**（?）を押すと、そのシーンの説明（ヘルプ）を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームボタンの**T**（?）を押します。

シーンモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（53）→ シーンによって異なります。「初期設定一覧」をご覧ください（59）
- MENU ボタンで設定できる機能 → 画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（61、［**かんたんパノラマ**］を除く）。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（63）。

シーンモードの種類と特徴

マークが記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（94）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ 65）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（66）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- 電子ズームは使えません。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（6）が緑色に点灯します。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 連写するには、シャッターボタンを全押しし続けます。約 1.4 コマ / 秒の速さで最大 12 コマまで連写できます（画像モードが ［**4608 × 3456**］のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

夜景ポートレート

夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→ 65）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します（66）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- 電子ズームは使えません。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 暗い場所では手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（94）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ビーチ

晴天の海や砂浜、湖などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

雪

晴天の雪景色を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

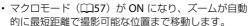
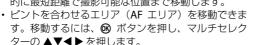
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（📖6）が緑色に点灯します。

夜景

遅いシャッタースピードで、夜景の雰囲気を表現します。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（📖6）が緑色に点灯します。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マクロモード（📖57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。

- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、OK ボタンを押し、マルチセレクターの ▲▼◀▶ を押します。
  以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います
  - フラッシュモード
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

料理

料理の撮影に使います。

- マクロモード（📖57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、OK ボタンを押し、マルチセレクターの を押します。
  以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - 色合い
  - セルフタイマー
  - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター）（📖52））。

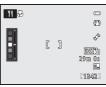
打ち上げ花火

遅いシャッタースピードで、打ち上げ花火を撮影します。

- ピントは、遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（📖6）が緑色に点灯します。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（📖57）を併用してください。

逆光

逆光状態での撮影に使います。
シーンモードの［**逆光**］を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の［**ON**］または［**OFF**］を選べます。

- ［**OFF**］（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
  - ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
  - シャッターボタンを全押しすると、1 コマ撮影します。

- ［**ON**］：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
  - 撮影画面に HDR アイコンが表示されます。HDR アイコンは、明暗の差が大きいと緑色になります。
  - ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
  - シャッターボタンを全押しすると連写し、以下の 2 コマを記録します。
    - 撮影時に D- ライティング（□71）処理した画像
    - HDR 合成した画像（白飛びや黒つぶれを抑えた画像）
  - 記録画像の 2 コマ目が HDR 合成した画像になります。記録可能コマ数が 1 コマの場合は、D- ライティング処理した画像のみ記録します。
  - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
  - 三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□94）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。
  - 電子ズームは使えません。

⌘ パノラマ

パノラマ写真の撮影に使います。
シーンモードの⌘［**パノラマ**］を選ぶと表示される画面で、［**かんたんパノラマ**］または［**パノラマアシスト**］を選べます。

- ［**かんたんパノラマ**］（初期設定）：パノラマ写真をつくりたい方向にカメラを動かすだけで、カメラで再生可能なパノラマ写真を撮影できます。
  - 撮影する範囲を［**標準（180°）**］（初期設定）、または［**ワイド（360°）**］から選べます。
  - シャッターボタンを全押しして指を離し、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定した範囲を撮影し終えると自動で撮影が終了します。
  - ピントは、撮影開始時に画面中央のエリアで合わせます。
  - ズーム位置は広角側に固定されます。
  - かんたんパノラマで撮影した画像は、1 コマ再生時に Ⓚ ボタンを押すと、画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

- ［**パノラマアシスト**］：パノラマ写真用の画像を複数撮影し、パソコンでパノラマ写真に合成したいときに使います。
  - 画像をつなげる方向をマルチセレクターの ▲▼◀▶ で選び、Ⓚ ボタンを押します。
  - 1 コマ目を撮影したら、画面の表示でつなぎ目を確認しながら必要なコマ数を撮影します。撮影を終了するには、Ⓚ ボタンを押します。
  - 撮影した画像は、パソコンに取り込んで、付属のソフトウェア「**Panorama Maker 5**」（□76）で合成してください。

☑ パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。
詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

ペット

犬または猫の撮影に使います。
- [**単写**]または[**連写**]（3 コマ連写）を選びます。
  - [**単写**]：1 コマずつ撮影します。
  - [**連写**]（初期設定）：[**ペット自動シャッター**]（初期設定）のときは、検出した顔にピントが合うと、3 コマ連写します（連写速度：画像モード 16M [**4608 × 3456**]のとき約 1.4 コマ / 秒）。ペット自動シャッターを使わないときは、シャッターボタンを全押ししている間、最大約 1.4 コマ / 秒で約 12 コマ連写できます（画像モード 16M [**4608 × 3456**]のとき）。
- カメラが犬または猫の顔を検出し、その顔にピントを合わせます。初期設定では、ピントが合うと自動でシャッターをきります（ペット自動シャッター）。
- 最大 5 匹の顔を同時に検出します。
- ペットを検出していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントを合わせます。
- マルチセレクターの ◀（セルフタイマー）を押すと、自動シャッターの設定を変更できます。
  - [**ペット自動シャッター**]（初期設定）：検出した顔にピントが合うと自動でシャッターをきります。[**ペット自動シャッター**]設定時は、撮影画面に が表示されます。
  - [**OFF**]：シャッターボタンのみでシャッターをきります。
- 以下の場合は[**ペット自動シャッター**]が自動的に[**OFF**]になります。
  - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなったとき

  ペット自動シャッターで撮影を続けるときは、マルチセレクターの◀（セルフタイマー）を押して、再設定してください。
- 電子ズームは使えません。
- ペットとの距離、ペットの動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、犬や猫を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

水中

水中での撮影に使います。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 電子ズームは使えません。
- 水中で撮影するときは、「<重要> 耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露、GPS/電子コンパスについて」（📖xi）をご覧ください。

スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。6種類の撮影効果のいずれかを選んで撮影します。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ SO（上から3番目のアイコン※）➔ ▶ ➔ 効果の選択（□26、27）

※前回設定したアイコンが表示されます。初期設定はSO（ソフト）です。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

スペシャルエフェクトの種類と特徴

項目		内容
SO	**ソフト**	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SE	**ノスタルジックセピア**	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
◨	**硬調モノクローム**	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
HI	**ハイキー**	画像全体を明るいトーンで表現します。
LO	**ローキー**	画像全体を暗いトーンで表現します。
✎	**セレクトカラー**	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

- ［**セレクトカラー**］を選んだときは、残したい色をマルチセレクターの▲▼でスライダーから選びます。
  以下の設定をするときは、Ⓚボタンを押していったん色を選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
  - フラッシュモード（□54）
  - セルフタイマー（□56）
  - マクロモード（□57）
  - 露出補正（□58）

  もう一度Ⓚボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。

スペシャルエフェクトモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□53）→ フラッシュモード（□54）、セルフタイマー（□56）、マクロモード（□57）、露出補正（□58）
- MENUボタンで設定できる機能 →画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（□61）。

いろいろな撮影

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（□63）。

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

撮影画面にする ➔ (撮影モード)ボタン ➔ ベストフェイスモード(26、27)

1 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。
- ［**笑顔自動シャッター**］（50）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

2 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、ボタンを押して他の撮影モードに切り換えます。

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→65

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（95）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

ベストフェイスモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□53）→ フラッシュモード（□54）、セルフタイマー（□56）、露出補正（□58）
- MENUボタンで設定できる機能 → ベストフェイスメニューの種類（下記）

ベストフェイスメニューの種類

ベストフェイスモードでは、以下の項目の設定が変更できます。

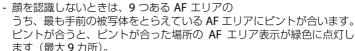
ベストフェイスモードの撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ タブ（□11）

項目	内容
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（□61）。初期設定は ［**4608 × 3456**］です。この設定は、他の撮影モードにも適用されます。
美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。初期設定は［**標準**］です。
笑顔自動シャッター	［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。
目つぶり軽減	［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 初期設定は［**OFF**］です。

📷（オート撮影）モード

基本的な撮影ができます。また、撮影メニューの項目を撮影状況や撮影意図に合わせて設定できます。

撮影画面にする ➔ 📷（撮影モード）ボタン ➔ 📷（オート撮影）モード（□26、27）

- ピント合わせをするエリアは、MENU ボタン→📷タブ→［**AFエリア選択**］の設定によって異なります。
- ［**AF エリア選択**］が［**顔認識オート**］（初期設定）のときは、以下のようにピントが合います。
  - 人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。→「顔認識撮影について」（□65）
  - 顔を認識しないときは、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所の AF エリア表示が緑色に点灯します（最大 9 カ所）。

📷（オート撮影）モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能（□53）→ フラッシュモード（□54）、セルフタイマー（□56）、マクロモード（□57）、露出補正（□58）
- MENU ボタンで設定できる機能 → 撮影メニューの種類（下記）

撮影メニューの種類（📷（オート撮影）モード）

📷（オート撮影）モードでは、以下の項目の設定が変更できます。

📷（オート撮影）モードの撮影画面にする ➔ MENU ボタン ➔ 📷タブ（□11）

項目	内容
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（□61）。初期設定は 16M［**4608 × 3456**］です。 この設定は、他の撮影モードにも適用されます。

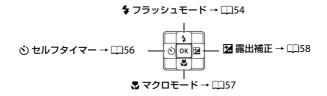
（オート撮影）モード

項目	内容
ホワイトバランス	画像の色合いを見た目に近づけたいときなどに設定します。［**オート**］（初期設定）で状況に対応できますが、思い通りの色合いにならないときは、天候や光源に合わせて設定してください。 ・ホワイトバランスを［**オート**］、［**フラッシュ**］以外に設定したときは、フラッシュモード（54）を（発光禁止）に設定してください。
連写	連続撮影の設定を［**単写**］、［**連写 H**］、［**連写 L**］、［**BSS**］（43）、［**マルチ連写**］から選びます。初期設定は［**単写**］（1コマずつ撮影）です。 ［**連写H**］に設定して、シャッターボタンを全押しし続けると、約7.1コマ/秒の速さで約3コマまで連写できます（画像モードが［**4608×3456**］のとき）。
ISO感度設定	ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体ブレを軽減しやすくなります。［**オート**］（初期設定）では、カメラが自動でISO感度を設定します。 ［**オート**］のときにISO感度が自動的に上がると、撮影画面にISO（28）が表示されます。
AFエリア選択	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を［**顔認識オート**］（初期設定）、［**オート**］、［**マニュアル**］、［**中央**］、または［**ターゲット追尾**］に設定します。
AFモード	シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う［**シングルAF**］（初期設定）、または半押ししていないときもピント合わせを行う［**常時AF**］を選べます。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（63）。

マルチセレクターで設定できる機能

撮影時にマルチセレクターの▲（⚡）、◀（⏲）、▼（🌷）、▶（±）を押すと、下記の機能を設定できます。

設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

• 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」（📖59）をご覧ください。

機能	らくらくオート撮影	シーン	スペシャルエフェクト	ベストフェイス	📷（オート撮影）
⚡ フラッシュモード（📖54）	○	※	○	○	○
⏲ セルフタイマー（📖56）	○	※	○	○	○
🌷 マクロモード（📖57）	×	※	○	×	○
± 露出補正（📖58）	○	※	○	○	○

※シーンによって異なります。→「初期設定一覧」（📖59）

フラッシュモード（フラッシュを使う）

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲（⚡ フラッシュモード）を押す

2 マルチセレクターでモードを選び、Ⓚ ボタンを押す

- フラッシュモードの種類→□55
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- ⚡AUTO（自動発光）にすると［**モニター表示設定**］（□94）にかかわらず、⚡AUTOは数秒間で消えます。

3 構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。
  - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
  - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
  - 消灯：発光しません。
- バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～3.5 m、望遠側で約0.5～2.2 mです（［**ISO感度設定**］が［**オート**］時）。

フラッシュモードの種類

⚡AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
⚡◉	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。
⊛	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
⚡	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
⚡☾	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。 夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（📖53）
  →「初期設定一覧」（📖59）
- 他の機能と組み合わせて使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（📖63）
- 📷（オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

記念撮影などで自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。
セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖94）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

1 マルチセレクターの◀（セルフタイマー）を押す

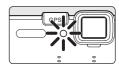
2 マルチセレクターの▲または▼で［**10s**］または［**2s**］を選び、OKボタンを押す

- ［**10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［**2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、（ペット自動シャッター）が表示されます（📖46）。セルフタイマー［**10s**］、［**2s**］は使えません。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出を合わせます。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

最短で、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターの▼（マクロモード）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で［ON］を選び、OKボタンを押す

- マークが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームボタンを操作し、マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
  マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。△マークから広角側のズーム位置では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

オートフォーカスについて

（オート撮影）モードの場合、撮影メニュー（□51）→［**AFモード**］の［**常時AF**］と組み合わせると、シャッターボタンを半押ししなくても、ピント合わせを行います。
それ以外の撮影モードでは、マクロモードをONにすると、自動的に［**常時AF**］になります。
オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。

マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。
  →「設定できる機能の種類」（□53）
  →「初期設定一覧」（□59）
- （オート撮影）モードの場合、変更したマクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正（明るさを調整する）

露出補正を設定して撮影すると、画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1 マルチセレクターの▶（露出補正）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で補正値を選ぶ

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「＋」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「－」側に設定します。

3 ⓞボタンを押す

- ⓞボタンを押さずに数秒経過すると、選択が決定されて設定メニューが消えます。
- ⓞボタンを押さずにシャッターボタンを押しても、選択している補正値で撮影できます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターに図マークと補正値が表示されます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するときは、手順1に戻って補正値を［**0.0**］にします。

露出補正の設定について

- （オート撮影）モードの場合、変更した露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- 撮影モードが、シーンモードの［**打ち上げ花火**］（□43）の場合、露出補正は使えません。

いろいろな撮影

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

- シーンモードについては、次ページをご覧ください。

撮影モード	フラッシュモード（📖54）	セルフタイマー（📖56）	マクロモード（📖57）	露出補正（📖58）
（らくらくオート撮影）（📖38）	AUTO※1	OFF	OFF※2	0.0
スペシャルエフェクト（📖47）	⊛	OFF	OFF	0.0
（ベストフェイス）（📖49）	AUTO※3	OFF※4	OFF※2	0.0
（オート撮影）（📖51）	AUTO	OFF	OFF	0.0

※1 AUTO（自動発光）か⊛（発光禁止）を選べます。AUTO（自動発光）では、自動判別したシーンに合わせて、カメラがフラッシュモードを設定します。

※2 変更できません。

※3 ［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。

※4 ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。

- （オート撮影）モードの場合、設定した内容は、電源をOFFにしても記憶されます（セルフタイマーを除く）。

シーンモードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュモード（□54）	セルフタイマー（□56）	マクロモード（□57）	露出補正（□58）
（□40）	⚡◉	OFF	OFF※1	0.0
（□40）	⊛※1	OFF	OFF※1	0.0
（□40）	⊛※1	OFF※1	OFF※1	0.0
（□41）	⚡◉※2	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	⚡◉※3	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	⚡AUTO	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	⚡AUTO	OFF	OFF※1	0.0
（□41）	⊛※1	OFF	OFF※1	0.0
（□42）	⊛※1	OFF	OFF※1	0.0
（□42）	⊛※1	OFF	OFF※1	0.0
（□42）	⊛	OFF	ON※1	0.0
（□43）	⊛※1	OFF	ON※1	0.0
（□43）	⊛※1	OFF	OFF	0.0
（□43）	⊛※1	OFF※1	OFF※1	0.0※1
（□43）	⊛	OFF	OFF	0.0
（□44）	⚡/⊛※4	OFF	OFF※1	0.0
（□45）	⊛※5	OFF※5	OFF※5	0.0
（□46）	⊛※1	※6	OFF	0.0
（□46）	⊛	OFF	OFF	0.0

※1 変更できません。

※2 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※3 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。

※4 ［**HDR**］が［**OFF**］のときは⚡（強制発光）に固定されます。［**HDR**］が［**ON**］のときは⊛（発光禁止）に固定されます。

※5 ［**かんたんパノラマ**］のときは、変更できません。

※6 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（□46）のON/OFFを設定できます。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない場合があります（□63）。

画像サイズ（画像モード）を変える

撮影画面にする ➔ MENUボタン（□11）➔ 撮影メニュー ➔ 画像モード

撮影メニューの［**画像モード**］で、記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。
画像の用途や内蔵メモリー /SDカードの残量に合わせて設定してください。
画像サイズの大きい画像モードほど、大きくプリントするのに適していますが、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード（画像サイズ/画質）の種類

項目※	内 容
16M★ 4608×3456★	16Mよりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
16M 4608×3456（初期設定）	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約1/8です。
12M 4000×3000	
8M 3264×2448	
5M 2592×1944	
3M 2048×1536	16M、12M、8M、5Mよりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
PC 1024×768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約1/8です。
VGA 640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4:3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9 12M 4608×2592	縦横比が16:9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

※記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。
例：16M★ 4608×3456：約16メガピクセル＝4608×3456ピクセル

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（□6、8）。

画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能と同時に設定できない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□63）

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	内蔵メモリー（約83 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
4608×3456★	約10コマ	約490コマ	約39×29 cm
4608×3456	約21コマ	約970コマ	約39×29 cm
4000×3000	約28コマ	約1280コマ	約34×25 cm
3264×2448	約42コマ	約1910コマ	約28×21 cm
2592×1944	約65コマ	約2940コマ	約22×16 cm
2048×1536	約102コマ	約4640コマ	約17×13 cm
1024×768	約334コマ	約15000コマ	約9×7 cm
640×480	約593コマ	約24100コマ	約5×4 cm
4608×2592	約28コマ	約1290コマ	約39×22 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

同時に設定できない機能

撮影時の設定には、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写（□52）	連写で撮影するときは、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減（□50）	［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター（□50）	［**笑顔自動シャッター**］で撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
	AFエリア選択（□52）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択（□52）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、マクロモードは使えません。
画像モード	連写（□52）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、5M（画像サイズ：2560×1920ピクセル）に固定されます。
連写	セルフタイマー（□56）	セルフタイマーで撮影するときは、［**単写**］に固定されます。
ISO 感度設定	連写（□52）	• ［**連写 L**］時は、［**ISO 感度設定**］の［**3200**］は使えません。［**3200**］のときに［**連写 L**］にすると、［**1600**］になります。 • ［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO 感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。
AFモード	AFエリア選択（□52）	［**顔認識オート**］にして撮影するときは、［**AFモード**］は［**シングルAF**］に固定されます。
デート写し込み	連写（□52）	［**連写H**］、［**連写L**］、［**BSS**］にして撮影するときは、日付を写し込めません。
	目つぶり軽減（□50）	［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にして撮影するときは、日付を写し込めません。
モーション検知	連写（□52）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	ISO 感度設定（□52）	［**ISO 感度設定**］を［**オート**］以外にすると［**モーション検知**］は作動しません。

同時に設定できない機能

制限される機能	設定	内容
操作音	連写（◻52）	連写で撮影するときは、シャッター音は鳴りません。
	目つぶり軽減（◻50）/ 笑顔自動シャッター（◻50）	［**目つぶり軽減**］または［**笑顔自動シャッター**］を［**ON**］にして撮影するときは、シャッター音は鳴りません。
目つぶり検出設定	連写（◻52）	連写で撮影するときは、目つぶり検出をしません。
電子ズーム	AFエリア選択（◻52）	［**ターゲット追尾**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
	連写（◻52）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。

電子ズームについてのご注意

- 撮影モードによっては、電子ズームは使えません。
- 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントを合わせます。

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
（らくらくオート撮影）モード（38）	最大12人	カメラに最も近い顔
（オート撮影）モード［**AFエリア選択**］（51）が［**顔認識オート**］）		
シーンモード（39）の［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］		
ベストフェイスモード（49）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- （らくらくオート撮影）モードでは、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- ［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］またはベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントを合わせます。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（31）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、「フォーカスロック撮影」（67）をお試しください。

顔認識撮影した画像の再生について

- 再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（［**連写**］（52）を設定して撮影した画像を除く）。
- 1コマ表示でズームボタンの**T**（Q）を押すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます（33）（［**連写**］（52）を設定して撮影した画像を除く）。

美肌機能について

以下の撮影モードではシャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

- （らくらくオート撮影）モードのとき（38）
- シーンモードの［**ポートレート**］（40）または［**夜景ポートレート**］（41）
- ベストフェイスモード（49）

撮影後にも、記録した画像に［**メイクアップ効果**］（71）で美肌などの編集ができます。

美肌機能についてのご注意

- 画像の記録に時間がかかることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。望ましい効果が得られない場合は、他の撮影モードに切り換えるか、ベストフェイスモード時は［**美肌効果**］を［**OFF**］にして撮影し直してください。
- （らくらくオート撮影）モード、シーンモードの［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］では、美肌効果の度合いは設定できません。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは、◘（オート撮影）モードで撮影メニュー（□51）の［**AFエリア選択**］を［**中央**］に設定した場合のフォーカスロックの操作方法を説明します。

1 ピントを合わせる被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする

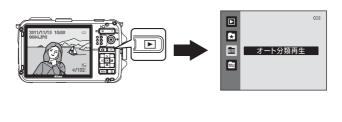
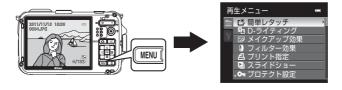
- ピントが合い、AF エリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

いろいろな再生

この章では、画像を絞り込んで再生する方法や再生時に使える機能について説明しています。

再生する画像を絞り込む

再生モードの種類を切り換えると、画像を絞り込んで再生できます。

再生モードの種類

▶ 再生 (□32)

画像を絞り込まず、撮影したすべての画像を再生します。撮影モードから再生モードに切り換えると、このモードになります。

★ お気に入り再生

お気に入りフォルダーに登録した画像のみを再生します。このモードに切り換える前に、お気に入りフォルダーへの画像登録が必要です（□72）。

AUTO オート分類再生

撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目に自動で分類されます。同じ分類の画像のみを再生します。

12 撮影日一覧

同じ撮影日の画像のみを再生します。

再生モードの切り換え方法

1 再生時に▶ボタンを押す

- 再生モードの種類を選ぶ画面（再生モードメニュー）が表示されます。

2 マルチセレクターの▲または▼でモードを選びⓀボタンを押す

- ［**再生**］を選んだときは、再生画面になります。
- ［**再生**］以外を選んだときは、お気に入りフォルダー、分類、または撮影日の選択画面になります。
- 再生モードの種類を切り換えずに再生に戻るには、▶ボタンを押します。

3 お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び、Ⓚボタンを押す

- ★ お気に入り再生
- AUTO オート分類再生
- 12 撮影日一覧
- お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び直すときは、手順1から繰り返してください。

オート分類再生モードのとき

再生モードで使える機能（再生メニュー）

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押してメニュー画面を表示し、▶タブ、★タブ、AUTOタブまたは12タブを選ぶと、以下のメニュー操作ができます（📖11）。

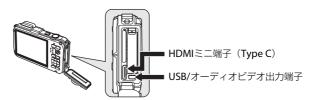
項目	内容
簡単レタッチ※1	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング※1	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。
メイクアップ効果※1	人物の顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりします。
フィルター効果※1	デジタルフィルターでいろいろな効果を付けます。効果の種類には、［**ピクチャーカラー**］、［**ソフト**］、［**セレクトカラー**］、［**クロススクリーン**］、［**魚眼効果**］、［**ミニチュア効果**］、［**かすみ取り**］があります。
プリント指定※2	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。
スライドショー※2	内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。
プロテクト設定※2	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。
画像回転	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
スモールピクチャー※1	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。
音声メモ	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモを付けられます。音声メモの再生または削除もできます。
画像コピー※3	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

項目	内容
連写グループ表示方法	連写した画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。
連写の代表画像選択※4	連写した一連の画像（連写グループ）の代表画像を変更します。
お気に入り登録※5	お気に入りの画像を選んで登録します。
お気に入り解除※6	お気に入り登録を解除します。

※1 選択中の画像を編集し、元画像とは異なるファイル名で保存します。[**画像モード**]（61）が [**4608×2592**] の画像やかんたんパノラマで撮影した画像、動画は、編集できません。編集済みの画像は、繰り返し編集できないことがあります。
※2 撮影日一覧モードのときは、撮影日の一覧画面でMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像をまとめて同じ設定にできます。
※3 お気に入り再生モード、オート分類再生モード、撮影日一覧モードのときは、選べません。
※4 設定するときはメニューを表示する前に、設定したい連写グループを選びます。
※5 お気に入り再生モードのときは、表示されません。
※6 お気に入り再生モードのときのみ、表示されます。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書も併せてお読みください。

バッテリー /SDカードカバーの開け方（□18）　　**プラグをまっすぐ差し込む**

テレビで鑑賞する

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP16の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブル（Type C）を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する　□74

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブル UC-E6をパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属の「ViewNX 2 Installer CD」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属の「ViewNX 2 Installer CD」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、76 ページをご覧ください。

パソコンを使わずにプリントする

パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブル UC-E6をプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。
付属の「ViewNX 2 Installer CD」からインストールできます。

ViewNX 2をインストールする

- **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

- Mac OS X（version10.5.8、10.6.7）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属の「ViewNX 2 Installer CD」をCD-ROMドライブに入れる

- Mac OS：［**ViewNX 2**］ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックします。

2 ［言語選択］ダイアログで言語を選択し、［Welcome］ウィンドウを開く

- ［**言語選択**］ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- ［**次へ**］をクリックすると、［**Welcome**］ウィンドウが開きます。

3 インストールを開始する

- インストールをする前に、［**Welcome**］ウィンドウの［**インストールガイド**］をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- ［**Welcome**］ウィンドウの［**インストール（推奨）**］をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- ［**ソフトウェアのダウンロード**］画面が表示されたら、［**同意して、ダウンロード開始**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリックします。
- Mac OS：［**OK**］をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

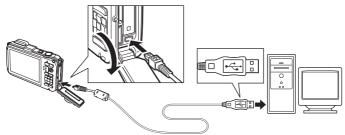
- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker 5（シーンモードのパノラマアシストを使って撮影した画像をパノラマ写真に合成します）
- QuickTime（Windows のみ）

6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSB ケーブルUC-E6でカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をON にする。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SD カードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。
  1 ［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2 ［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

いろいろな再生

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にしてから、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。

ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックする
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックする

画像を編集する

ViewNX 2のツールバーで［**エディット**］をクリックします。

階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き（クロップ）などの編集ができます。

動画を編集する

ViewNX 2のツールバーで［**Movie Editor**］をクリックします。

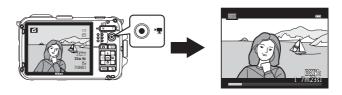
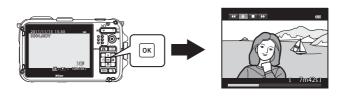
このカメラで撮影した動画の不要な部分を削除するなどの編集ができます。

画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで［**印刷**］をクリックします。

ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画像をプリントできます。

動画を撮影、再生する

● （🎥 動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

再生モードで🆗ボタンを押すと、動画を再生します。

動画を撮影する

●（🎥 動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。
色合いやホワイトバランスなどの静止画の設定は、動画にも引き継がれます。

1 電源をONにして、撮影画面を表示する

- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します。初期設定は、1080/30p［**HD 1080p★ (1920 ×1080)**］です（📖83）。
- 動画は、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。［**モニター表示設定**］（📖94）を［**動画枠+情報AUTO**］にすると、撮影前に動画の写る範囲を確認できます。
  ※イラスト上の記録可能時間の数値は、実際とは異なります。

2 ●（🎥 動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AF エリアは表示されません。
- ［**動画設定**］が 1080/30p［**HD 1080p★ (1920 × 1080)**］など縦横比16:9の動画設定で撮影する場合、撮影画面の縦横比が16:9に切り換わります（右の画面の範囲で記録されます）。
- 記録可能な残り時間の目安を液晶モニターで確認できます。内蔵メモリーへの記録中は、INが表示されます。

- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。

3 ●（🎥 動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

☑ 動画の記録についてのご注意

撮影終了後、撮影画面に切り換わるまでは、動画の記録は終了していません。**バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。**記録が終了する前にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

🖉 アクション操作について

セットアップメニュー（📖94）の［**アクションボタン設定**］を［**アクション操作**］にすると、アクション操作（📖13）で、動画撮影ができます。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□21）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームボタンの**T**を押し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームボタンから指をはなして、もう一度**T**を押すと電子ズームが作動します。電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
  - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
  - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する

オートフォーカスについてのご注意

- 動画メニューの［**AFモード**］（□83）がAF-S［**シングルAF**］（初期設定）の場合、●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときに、ピントは固定されます。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□31）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。
  1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］をAF-S［**シングルAF**］（初期設定）にする。
  2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、30 秒後に撮影が自動終了します。自動終了までの残りの秒数（30s）が画面に表示されます。自動終了後、5秒後に電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

動画の記録可能時間

動画設定（□83）	内蔵メモリー（約 83 MB）	SDカード（4 GB）※
HD 1080p ★ (1920×1080)	約50秒	約35分
HD 1080p (1920×1080)	約58秒	約40分
HD 720p (1280×720)	約1分18秒	約55分
iFrame 540 (960×540)	約29秒	約20分
VGA (640×480)	約3分53秒	約2時間55分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類や撮影した動画のビットレートによって記録可能時間は異なります。

※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

動画撮影で使える機能

- 露出補正、撮影メニュー（□51）の［**ホワイトバランス**］の設定も撮影する動画に反映します。マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□56）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒または2秒後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、（動画）タブに切り換えると動画メニューの設定ができます（□83）。

HS（ハイスピード）動画を撮影する

動画メニュー［**動画設定**］を［**HS 240 fps (320×240)**］、［**HS 120 fps (640×480)**］、［**HS 60 fps (1280×720)**］、［**HS 15 fps (1920×1080)**］にすると、スローモーション動画や早送り動画を撮影できます。

動画撮影の設定を変える（動画メニュー）

以下の項目の設定が変更できます。

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 🎥タブ（□11）

項目	内容
動画設定	撮影する動画の種類を設定します。初期設定は［**HD 1080p★ (1920 × 1080)**］です。 ・通常速度の動画：［**iFrame 540 (960 × 540)**］を選ぶと、Apple Inc. がサポートするフォーマットで撮影できます。 ・HS 動画：［**HS 240 fps (320 × 240)**］、［**HS 120 fps (640 × 480)**］、［**HS 60 fps (1280 × 720)**］を選ぶと、スローモーション動画を撮影できます。［**HS 15 fps (1920 × 1080)**］を選ぶと、早送り動画を撮影できます。HS 動画の撮影中は、Ⓚ ボタンを押すたびに、通常速度と HS 動画の切り換えができます。
HS動画で記録開始	［**ON**］（初期設定）時は、HS動画を撮影するときに、撮影開始からスローモーションまたは早送りの動画で撮影します。
AFモード	通常速度の動画で撮影するときのオートフォーカスの方法を選びます。 動画撮影開始時のピントに固定する［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中もピント合わせを繰り返す［**常時AF**］を選べます。 ［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。
動画照明	［**ON**］にすると、動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明を点灯します。初期設定は［**OFF**］です。
風切り音低減	動画撮影時にマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録するか設定します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。初期設定は［**OFF**］です。

動画を再生する

1 ▶（再生）ボタンを押し、再生モードにする

- マルチセレクターで動画を選びます。
- 動画設定（□82、83）のアイコンが表示されている画像が動画です。

2 ⓪ボタンを押し、再生する

音量の調節

再生中にズームボタン**T/W**（□3）を操作します。

動画再生中の操作

画面上部には操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、⓪ボタンを押すと以下の操作ができます。

機能	アイコン	内容	
巻き戻し	◀◀	⓪ボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	⓪ボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	❚❚	一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。	
		◀❚❚	1コマ戻ります。⓪ボタンを押し続けると、連続してコマ戻しします。
		❚❚▶	1コマ進みます。⓪ボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。
		✂	動画の必要な部分だけを切り出して保存します。
		▶	再生を再開します。
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。	

動画を削除するには、1コマ表示（□32）やサムネイル表示（□33）で動画を選んで🗑ボタンを押します（□34）。

✔ 動画再生についてのご注意

COOLPIX AW100以外で撮影した動画は、再生できません。

GPSを使う/地図を表示する

この章では、GPSを使って画像に位置情報を記録する機能や、カメラ内蔵の地図情報を使って、現在地や画像の撮影場所を画面上に表示する機能について説明しています。

GPSの位置情報記録を開始する

GPS（Global Positioning System）は、衛星軌道上のGPS衛星からの電波を利用して、地球上のどこにいるかを測るシステムです。カメラ内蔵のGPSを使うと、GPS衛星から電波を受信して、現在の時刻と位置を計算します。
位置を計算することを「測位」といいます。
測位した位置情報（緯度と経度）は、撮影する画像に記録できます。

位置情報の記録を開始するには、［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］を設定します。

撮影画面にする ➔ アクションボタンで地図表示※（📖13）➔ MENUボタン（📖11）➔ GPS設定 ➔ 位置情報記録機能

※アクションボタンを押して地図表示を表示するには、セットアップメニュー（📖94）の［**アクションボタン設定**］を［**地図表示**］に設定します。

［**ON**］にすると、GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります。

- 初期設定は、［**OFF**］です。
- GPS衛星からの電波の受信を開始するときは、空のひらけた屋外で操作してください。
- カメラの日時を設定していない場合は、GPS 機能を使う前に設定してください（📖24）。日時が設定されていないときは、ログ取得機能などを使えません。

GPS受信状態表示と地名情報（POI情報）について

- GPS受信状態は、撮影画面で確認できます（📖6）。
  - 4つ以上の衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - 3つの衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
  - ：衛星から受信していますが、測位できていません。画像に位置情報は記録されません。
  - ：衛星から受信ができず、測位できません。画像に位置情報は記録されません。
- 地図表示メニュー（📖90）［**POI設定**］の［**POI表示設定**］が［**ON**］のときは、地名情報（POI情報）が表示されます。地名情報は現在地に最も近いランドマーク名（施設名）などを表示します。
- ［**POI設定**］の［**POI表示レベル設定**］の設定したレベルによっては、「----」と表示される場合があります。また、意図したランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。
- 地名情報を画像に記録するには、［**POI設定**］の［**POI記録**］を［**ON**］にします。

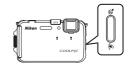
GPSについてのご注意

- はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。
- GPS衛星の位置は常に変化しています。お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。GPSアンテナ部（📖2）を空に向けると受信しやすくなります。
- 航空機内や病院で電源をOFF にする必要があるときは、［**位置情報記録機能**］の設定も［**OFF**］にしてください。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
  - 建物の中や地下
  - 高層ビルの間
  - 高架の下
  - トンネルの中
  - 高圧電線などの近く
  - 密集した樹木の間
  - 水中
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなることがあります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。金属製のものでおおうと測位できません。
- GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- ［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にしたまま電源をOFFにすると、30分間隔で6時間まで測位します。測位できない状態が続いている場合は、15分間隔で1時間まで測位します。約3分経過しても測位できないときは、その回の測位を中止します。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- 連写で撮影した画像には、1コマ目に撮影した位置情報が記録されます。
- このカメラのGPS機能の測地系は、世界測地系（WGS 84 : World Geodetic System1984）です。

位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時に🛰が表示されます（📖8）。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX 2を使って位置情報を地図上で確認できます（📖74）。
- 画像ファイルに記録されているGPS情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。

地図を表示する

カメラ内蔵の地図情報を使って、現在地や画像の撮影場所を画面上に表示できます。
撮影モードまたは再生モードでアクションボタンを押すと、地図が表示されます。

撮影モード時

地図表示メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときに撮影モードでアクションボタンを押すと、現在地を画面上に表示します。

- 地図の縮尺を調節するには、ズームボタン（**W**（⊞）/ **T**（Q））を操作します。

再生モード時

1コマ表示で が表示されている画像を選び、アクションボタンを押すと、画像の撮影場所を画面上に表示します。

- 地図の縮尺を調節するには、ズームボタン（**W**（⊞）/ **T**（Q））を操作します。
- 地図表示を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。

- Ⓚボタンを押すと、他の画像を選べます。サムネイル表示には、位置情報を記録した画像のみ表示されます。
- は画像の撮影場所とおよその方位（の場合は北向き）を示し、選択中の画像は黄色で表示されます。
- マルチセレクターの◀▶を押して、画像を選びます。
- ズームボタンの **T**（Q）を押すと、画像を拡大表示できます。**W**（⊞）を押すと、地図表示に戻ります。

地図表示についてのご注意

- 地図表示は回転できません。画面の上が北を指すノースアップ表示のみです。
- 地図を表示する国によって地図表示の縮尺が異なります。
- 撮影モードで、地図表示メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**OFF**］のとき、または測位ができていないときは、セットアップメニュー（□94）［**地域と日時**］の［**タイムゾーン**］で設定した地域を中心にした世界地図が表示されます。
- 再生する画像に位置情報が記録されていない場合は、地図表示できません。

アクション操作について

セットアップメニュー（□94）の［**アクションボタン設定**］を［**アクション操作**］にすると、アクション操作（□13）で、地図表示ができます。

GPSや電子コンパスの設定を変える（地図表示メニュー）

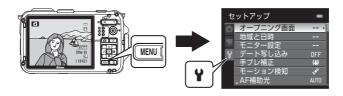
地図表示モードでは、以下の項目の設定が変更できます。

アクションボタンを押す（地図表示、□13）➔ MENUボタン ➔ タブ（□11）

項目	内容
GPS設定	［**位置情報記録機能**］：［**ON**］にすると、GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります（□86）。初期設定は［**OFF**］です。 ［**日時合わせ**］：GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します（地図表示メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときのみ）。 ［**A-GPSファイル更新**］：SDカードを使ってA-GPS（アシストGPS）ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。
距離単位	地図表示の距離単位を［**km(m)**］（キロメートル、メートル）（初期設定）または［**mi(yd)**］（マイル、ヤード）から選べます。
距離計算	現在地から画像の撮影場所（地図表示メニュー［**GPS設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときのみ）、または画像の撮影場所間の直線距離を計算します（再生モード時のみ）。

項目	内容
POI設定	POI（Point of interest、地名情報）に関する設定をします。 ［**POI記録**］：［**ON**］にすると、撮影する画像に地名情報を記録します。初期設定は［**OFF**］です。 ［**POI表示設定**］：［**ON**］にすると、撮影画面や再生画面に地名情報を表示します。初期設定は［**OFF**］です。 ［**POI表示レベル設定**］：地名情報の表示レベルを設定します。レベルが大きいほど、詳細な地域情報になり、レベルが小さいほど広域な地域情報（国名など）になります。 ［**POI情報編集**］：画像に記録された地名情報のレベルを変更したり、地域情報を削除したりできます。
ログ取得	ログ取得を開始すると、設定した時間が経過するまで一定の間隔で測位した位置情報を記録します（地図表示メニュー［**GPS 設定**］の［**位置情報記録機能**］が［**ON**］のときのみ）。 • ログデータを表示したいときは、SD カードに保存します。
ログデータ表示	取得したログデータを地図上に表示し、移動した軌跡を確認できます。
電子コンパス設定	［**コンパス表示**］：［**ON**］にすると、撮影画面にコンパス（方位計）を表示します。初期設定は［**OFF**］です。 ［**コンパス補正**］：コンパスの方位が正しく表示されないときに、コンパスの補正をします。カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8 の字を書くように振ってください。

カメラに関する基本設定

この章では、🔧セットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。

- メニュー画面の基本操作については、「メニューを使う（MENUボタン）」（📖11）をご覧ください。

セットアップメニュー

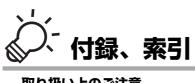
MENUボタンを押す ➔ 🔧（セットアップ）タブ（📖11）

メニュー画面で🔧タブを選ぶと、以下の項目をセットアップメニューで設定できます。

項目	内容
オープニング画面	［**COOLPIX**］を選ぶと、電源ON時に、オープニング画面（COOLPIXロゴ）を表示してから、撮影/再生画面を表示します。［**撮影した画像**］を選ぶと、オープニング画面として撮影した画像を表示します。初期設定は［**なし**］です。
地域と日時	内蔵時計の日時を設定します。［**タイムゾーン**］では、ご使用の地域や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（🏠）との時差を自動計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
モニター設定	［**モニター表示設定**］では、撮影画面や再生画面に情報を表示するかどうかを選びます。構図を決める参考になる格子線を表示する［**格子線+情報AUTO**］も選べます。また、撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。
デート写し込み	撮影時に画像に撮影日時を写し込んで記録します。初期設定は［**OFF**］です。 • シーンモードの［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］、［**逆光**］の［**HDR**］が［**ON**］、［**パノラマ**］または［**ペット**］の［**連写**］にしたときや、動画撮影のときは、日時を写し込めません。
手ブレ補正	撮影時に手ブレの影響を軽減します。初期設定は［**ON**］です。 • 三脚などでカメラを固定するときは、補正機能の誤動作を防ぐため［**OFF**］にしてください。

項目	内容
モーション検知	撮影時にカメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。初期設定は［**AUTO**］です。 撮影画面の表示は、ブレを検知してシャッタースピードが速くなると緑色に変わります。 • 撮影モードなどの設定によっては、検知しません。その場合は撮影画面には表示されません。
AF**補助光**	［**AUTO**］（初期設定）時は、暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光（31）が点灯します。 • AF 補助光が届く距離は、広角側で約 3.5 m、望遠側で約 2.0 m です。 • AF 補助光の設定に関わらず、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しません。
電子ズーム	［**ON**］（初期設定）時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームボタンの**T**（）を押すと、電子ズームが作動します（29）。 • 撮影モードなどの設定によっては、電子ズームは使えません。
操作音	操作時に電子音を鳴らすかどうかを設定します。初期設定では電子音が鳴ります。 • 撮影モードなどの設定によっては、操作音は鳴りません。
アクション操作の感度	アクションボタンの操作感度を設定します。 ［**高**］（初期設定）では、小さな振りでも操作できます。［**低**］では、大きな振りで操作します。 • アクション操作の［**クイック再生**］または再生モードの 1 コマ表示中の画像選択操作の感度は固定です。
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。初期設定は［**5 分**］です。
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	SDカードを入れていないときは内蔵メモリーを、SDカードを入れているときはSDカードを初期化（フォーマット）します。 • **初期化すると内蔵メモリーまたは SD カード内のデータはすべて削除され、元に戻せません。**必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。

セットアップメニュー

項目	内容
言語/Language	メニュー画面などに表示する言語を選びます。
TV出力設定	オーディオビデオケーブルやHDMIケーブルでテレビと接続しても、画像がテレビに映らないときに設定します。［**HDMI 機器制御**］では、HDMI-CEC規格対応のテレビにHDMIケーブルで接続したときに、テレビからの信号を受信するかどうかを設定します。
目つぶり検出設定	ベストフェイスモード以外で顔認識撮影（📖65）した直後、被写体の人物が目を閉じている可能性をカメラが検出すると［**目つぶり確認**］画面が表示され、撮影した画像を確認できます。初期設定は［**OFF**］です。
アクションボタン設定	アクションボタンの動作を切り換えます。 初期設定では、アクションボタンを押すと、地図を表示します。
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。 •［**地域と日時**］、［**言語 /Language**］など、一部の設定はリセットされません。
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「**安全上のご注意**」(📖vi～vii)や「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露、GPS/電子コンパスについて」(📖xi～xvi)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 内部を水で濡らさないでください
COOLPIX AW100は、JIS/IEC保護等級 8(IPX8)相当の防水機能を備えていますが、カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。
海辺や水中で使った後は、バッテリー /SDカードカバーをしっかりと閉じていることを確認し、浅い容器に溜めた真水の中で10分以内で浸け置きしてください。
水中でのご使用後は、60分以上放置しないでください。防水性能の劣化の原因になります。

● 浸水の防止について
カメラの内部が水に濡れると、故障の原因となり、修理不能となります。浸水(水没)事故を防ぐために、以下の注意を守ってご使用ください。

- バッテリー/SDカードカバーを密閉するときは、防水パッキンと防水パッキンに接する部分に、ストラップや髪の毛、繊維、ほこりや砂粒などの異物や汚れが付着していないかお確めください。また、防水パッキンが外れたりしていないかもお確かめください。
- バッテリー /SDカードカバーの開閉は、水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でしないでください。
- カメラに外部から力を加えると、変形して気密性を失い、浸水の原因となります。重いものを載せたり、落としたり、強く押したりしないでください。
- 万一、カメラ内部へ浸水した場合は、ただちに使用を中止し、カメラの水分を拭き取り、大至急ニコンサービス機関にお持ちください。

● 衝撃・振動について
落としたり、岩など硬いものにぶつけたり、水面に投げたりしないでください。また、振動のある場所に置かないでください。衝撃を加えると、故障や破損の原因になります。

● 最大深度などについて
COOLPIX AW100は水深10 m以内での水圧に、約60分間耐えうる設計です。10 mを超える水深では、カメラ内部の浸水などが起こり、故障の原因となるおそれがあります。

● 寒冷地での使用について
- このカメラは、－10℃での動作確認をしています。寒冷地で、雪や水滴が付着したまま放置すると、ズームボタンや電源スイッチなどのすき間に入った雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなる場合がありますので、ご注意ください。
- －10℃～0℃では、一時的にバッテリーの性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が低下します。
- 寒冷地などで本機が冷えきっていると、電源をONにした直後は液晶モニターが通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、一時的に性能が低下する場合があります。
- 寒冷地や標高の高い山では、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

● 急激な温度変化を与えないでください
- 温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。
- 水中に入れる前に、砂浜や直射日光があたる場所など温度の高い場所に放置しないでください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● バッテリーやACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください
電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて
- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは非点灯の点が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録画像には影響はありません。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、ご注意ください。

バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖ix）をお守りください。

● 使用上のご注意

・ 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
・ 周囲の温度が －10℃～＋40℃ の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
・ 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
・ カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりません。

・ バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。
・ カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。
  バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
  バッテリーの温度が0℃～10℃、45℃～60℃のときは、充電できる容量が減ることがあります。
・ 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
・ 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。
消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

・ バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
・ バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
・ バッテリーは、付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

バッテリーを充分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

バッテリーチャージャーについて

・ お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖x）をお守りください。
・ 付属のバッテリーチャージャーは、ニコンLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12以外には使えません。
・ このバッテリーチャージャーは、家庭用電源のAC 100~240 V、50/60 Hz に対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。
  推奨メモリーカード➞21
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- SD カードをこのカメラではじめて使うときは、このカメラで初期化するようおすすめします。特に、他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SD カードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、［**はい**］を選んで OKボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
  - カメラの電源を OFFにする
  - ACアダプターを外す

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の有機溶剤や化学洗剤、防錆剤、曇り止めは使わないでください。

レンズ

- ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。
- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。
- 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。
- 汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- 強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリをブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 水中や海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
- 日焼け止めが付着した手でカメラを使うと、カメラ外装の劣化の原因になることがあります。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「●保管について」（☼5）をお守りください。

地図・地名情報データ使用許諾契約書

このデジタルカメラ（以下「本製品」という）に搭載されている地図データ及び地名データ（以下「本データ」という）は、次の条件で、ご使用頂けます。

データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定
株式会社ニコン（以下「ニコン」という）又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項
お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。
（1）サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用すること。
（2）インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
（3）測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
（4）本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。
（5）本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。
（6）法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
（7）本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
（8）その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告
時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権
本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責
ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他
本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとします。本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●日本地図ならびに地名情報データについて

本サービスは株式会社ゼンリンの地図データおよびPOI（位置情報）を使用しています。“ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

2万5千分の1地形図について
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。
（承認番号　平20業使、第204-864号）

50万分の1地方図について
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図を使用したものである。
（承認番号　平21業使、第757-320号）

●日本以外の地図ならびに地名情報データについて

NAVTEQ MAPS

Austria	© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Croatia **Cyprus** **Estonia** **Latvia** **Lithuania** **Moldova** **Poland** **Slovenia** **Ukraine**	© EuroGeographics
Belgium (Traffic Codes for Belgium)	Traffic Codes for Belgium are provided by the Ministerie van de Vlaamse Gemeenschap and the Ministèrie de l'Equipement et des Transports.
France	source: © IGN 2009 – BD TOPO ®
Germany	"Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen"
Great Britain	Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010
Great Britain (Royal Mail data)	Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010
Greece **	Copyright Geomatics Ltd.
Hungary	Copyright © 2003; Top-Map Ltd.
Italy	La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway	Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Portugal	Source: IgeoE – Portugal
Spain	Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden	Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland	Topografische Grundlage: ©Bundesamt für Landestopographie

Canada	This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty the Queen in Right of Canada, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post Corporation, GeoBase®, © The Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.
Mexico	Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.)
United States	©United States Postal Service® 2010. Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®. The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4.
Australia	© Hema Maps Pty. Ltd, 2010. Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au). Product incorporates data which is © 2010 Telstra Corporation Limited, GM Holden Limited, Intelematics Australia Pty Ltd, NAVTEQ International LLC, Sentinel Content Pty Limited and Continental Pty Ltd.
Israel	© Survey of Israel data source
Jordan	© Royal Jordanian Geographic Centre
Mozambique	Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2010 by Cenacarta
Réunion	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Ecuador	INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011
Guadeloupe	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Guatemala	Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN N° 186-2011
French Guiana	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Martinique	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Mexico	Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。	22 23 – 🔧4
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタン、または ●（🎥 動画撮影）ボタンを押してください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがAVケーブルまたはHDMIケーブルで接続されています。	23 22 23 73 73
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	94 🔧2
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00　00:00」、動画の撮影日時が「2011/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	24、94 94
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	94
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	24、94
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • デート写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 • 動画には写し込みできません。	94 63 –
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	25

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	23
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	81

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	73
撮影できない	• 再生モードになっているときは、📷 ボタン、シャッターボタン、または ●（🎥 動画撮影）ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	32 11 22 54
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、📷（らくらくオート撮影）モード、またはシーンモードの［**クローズアップ**］での撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 • 電源を入れ直してください。	38、42、57 31 94 30、51 23
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	54 94 51 56

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊛（発光禁止）にしてください。	55
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • 動画撮影中です。 • フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。	55 54 63
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**逆光**］の HDR が［**ON**］、［**ペット**］または［**水中**］のときは、電子ズームは使えません。 • 電子ズームが制限される他の機能の設定がされています。	94 40、41、44、46 63
［**画像モード**］が選べない	［**画像モード**］が制限される他の機能の設定がされています。	63
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。 • シーンモードが［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］または［**ペット**］になっています。 • 動画撮影中です。 • シャッター音が制限される他の機能の設定がされています。 • スピーカーをふさがないでください。	94 40、43、46 63 3
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。	94
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔆2
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	51
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）などが写し込まれることがあります。 光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	 54 51

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる（露出アンダー）	• フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］の HDR を［**OFF**］にするか、フラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	55 28 54 58 51 44、54
画像が明るすぎる（露出オーバー）	露出を補正してください。	58
赤目以外の部分が補正された	⚡◎（赤目軽減自動発光）やシーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを ⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	41、54
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー［**美肌**］をお試しください。	66 71
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • ノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを ⚡◎（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • 以下のシーンモードで撮影したとき - 逆光アイコン（逆光）の［**HDR**］が［**ON**］ - ［**パノラマ**］の［**かんたんパノラマ**］ • 美肌機能で撮影したとき	– 55 44 45 66
連写の設定ができない、または使えない	連写が制限される他の機能の設定がされています。	63

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • COOLPIX AW100以外で撮影した動画は再生できません。	– 84
連写グループが再生できない	• COOLPIX AW100 以外で連写した画像は、連写グループとして再生できません。 • ［**連写グループ表示方法**］の設定を確認してください。	– 71
画像の拡大表示ができない	• 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 • COOLPIX AW100 以外で撮影した画像は、拡大表示できないことがあります。	– –
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • COOLPIX AW100 以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。	84 71
画像や動画を編集できない	• 画像や動画の編集が可能な条件を確認してください。 • COOLPIX AW100 以外で撮影した画像や動画は編集できません。	72 –
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**TV 出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ミニ端子と USB/ オーディオビデオ出力端子の両方にケーブルが接続されています。 • 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはSDカードを取り出してください。	94 73 20
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生モードで再生できない	内蔵メモリー /SD カード内のデータがパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	• 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 • COOLPIX　AW100 以外で撮影した画像または［**画像コピー**］でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 • 内蔵メモリー /SD カード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 • 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに 999 コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。	70 –
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご参照ください。	23 22 73 – 74 77
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。	20 21
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	–

GPS関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
測位できない、測位に時間がかかる	• 撮影する環境によって、測位できないことがあります。GPS を使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。 • はじめて測位したときや、測位できない状態が約 2 時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。	87 87
撮影した画像に位置情報が記録されない	• 撮影時の画面に 🛰 や 🛰 が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前に GPS 受信状態を確認してください。	86
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じることががあります。GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。	87
記録された地名情報が意図したものと違う、または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。	–
A-GPS ファイルが更新できない	• 以下のことを確認してください。 - SD カードが入っているか - SD カード内に A-GPS ファイルが入っているか - SD カード内の A-GPS ファイルがカメラ内の A-GPS ファイルより新しいか - 有効期限が切れていないか • A-GPS ファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。	–
ログデータを保存できない	• SD カードが入っているか確認してください。 • 記録できるログデータの数は、1 日に 36 件までです。 • 1 枚の SD カードに保存できるログデータは、最大で 100 件までです。不要なログデータを SD カードから削除するか、新しい SD カードに交換してください。	– –

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX AW100

型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		16.0 メガピクセル
撮像素子		1/2.3型 原色CMOS、総画素数16.79メガピクセル
レンズ		光学5倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	5.0-25.0 mm（35mm判換算28-140 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.9-4.8
	レンズ構成	10群12枚（EDレンズ2枚）
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約560 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式と電子式の併用（静止画） レンズシフト方式（動画）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• 先端レンズ面中央から約 50 cm ～∞（広角側）、約 1 m ～∞ （望遠側） • マクロモード時は先端レンズ面中央から約 1 cm（△ マークから広角側）～∞
	AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（99点）、ターゲット追尾
液晶モニター		広視野角3型TFT液晶、反射防止コート付き、約46万ドット 輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 83 MB）、 SD/SDHC/SDXC メモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画： JPEG 音声メモ：WAV 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AAC ステレオ）

画像サイズ（記録画素数）	・16 M（高画質）［**4608 × 3456 ★**］ ・16 M［**4608 × 3456**］ ・12 M［**4000 × 3000**］ ・8 M［**3264 × 2448**］ ・5 M［**2592 × 1944**］ ・3 M［**2048 × 1536**］ ・PC［**1024 × 768**］ ・VGA［**640 × 480**］ ・16:9［**4608 × 2592**］
ISO感度（標準出力感度）	・ISO 125、200、400、800、1600、3200 ・オート（ISO 125 ～ 800） ・感度制限オート（ISO 125 ～ 400）
露出	
測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	1/1500 ～ 1秒、4秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り	電磁駆動によるNDフィルター（－2 AV）選択方式
制御段数	2（f/3.9、f/7.8［**広角側**］）
セルフタイマー	約10秒、約2秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.3～3.5 m（広角側） 約0.5～2.2 m（望遠側）
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
HDMI出力	オート、480p、720p、1080i から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）、HDMIミニ端子（Type C）（HDMI出力）
電子コンパス	8方位検出（3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、自動偏角補正付き、自動オフセット調整機能付き）
GPS	受信周波数 1574.52 MHz（C/Aコード）、測地系 WGS 84
言語	日本語、英語の2言語

電源	・Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12（リチウムイオン充電池：付属）× 1 個 ・AC アダプター EH-62F（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※1	約250コマ（EN-EL12使用時）
動画撮影可能時間（電池寿命）※2	約1時間35分 （[**HD 1080p★(1920×1080)**]、EN-EL12 使用時）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約110.1×64.9×22.8 mm（突起部除く）
質量	約178 g（バッテリー、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	－10℃～＋40℃（陸上） 0℃～40℃ （水中）
使用湿度	85%以下（結露しないこと）
防水性能	JIS/IEC保護等級 8（IPX8）相当（当社試験条件による） 水深10 m、60分までの撮影が可能
防じん性能	JIS/IEC保護等級 6（IP6X）相当（当社試験条件による）
耐衝撃性能	MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件（※3）をクリアー

・仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-EL12をフル充電で使用時のものです。

※1 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23(±2)℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード 16M［**4608×3456**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動します。

※2 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

※3 高さ152 cmから厚さ5 cmの合板に落下させます（落下衝撃部分の塗装剥離、変形など外観変化、防水性能は不問とします）。
すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC3.7 V、1050 mAh
使用温度	−10℃〜+40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約32 × 43.8 × 7.9 mm
質量	約22.5 g（端子カバーを除く）

バッテリーチャージャー MH-65P

電源	AC 100〜240 V、50/60 Hz、0.08〜0.05 A
定格入力容量	18〜12 VA
定格出力	DC 4.2 V、0.7 A
適用充電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12
充電時間	約2時間30分（残量のない状態からの充電時間）
使用温度	0℃〜40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約58 × 27.5 × 80 mm
質量	約70 g

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン　サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

0570-02-8000

一般電話·公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、（03） 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け·集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155 営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

0570-02-8200

一般電話·公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

携帯OK

営業時間：9:30～17:30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03） 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Japan

FX1G01(10)

6MM15810-01